

浄土宗方便山善立寺

❧ 香こうれん 蓮 ❧

第 11 号

平成三十年正月

echo[㊤]

「歯の悩み、生死の悩み、伺います」

龍興院副住職 / 歯科医 大島慎也 (37 歳)

善立寺副住職 小路竜嗣 (31 歳)

巻頭 / 仏教メモ

お焼香の仕方とお香の原料

● お焼香の仕方とお香の原料

① 焼香の仕方

ご質問を受けることが多いお焼香の仕方をまとめました。

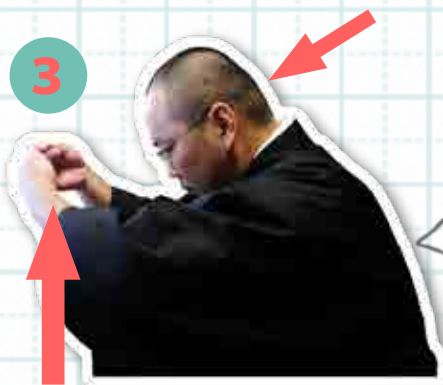


- ① お香は右手の
親指・人差指・中指
の3本でつまみます。

ポイント!
数珠は左手首にかけておきます



- ② 左手を添えます。
ポイント!
右手を下から支える感じ



- ③ 両手を頭の高さまでかけます。
同時に頭も下げます。

ポイント!
お香は額に近づけるというより、
頭の高さまで上げる感じ



- ④ お香を薫じ、合掌、一礼します。

ポイント!
浄土宗ではお焼香は1回

② お香の原料

お香の原料、香材には様々な種類があります。
お線香などを買う際、参考にいただければ……

● 白檀(びやくだん)

ビャクダン科の植物
お線香の原材料として広く普及している香材
英語では「サンダルウッド」と呼ばれ、
アロマオイルや薬用にも用いられています。
原産地：インド



Sandalwood



Agarwood

● 沈香(じんこう)

ジンチョウゲ科の植物
もとは軽い植物ですが、
香りの基となる樹脂の分泌により
水に沈みほどに重くなります。
このことから沈水香木、「沈香」と呼ばれます。
原産地：東南アジア

● 伽羅(きやら)

沈香の中でも特に品質の良いもの
貴重な香材で、1g あたり数万円と非常に高価
乱獲により、原木が減少
現在はワシントン条約により
保護されています



Aloewood

歯の悩み、生死の悩み、伺います

龍興院副住職 / 歯科医 大島慎也上人

大島慎也（おおしま しんや）

1980 年生 37 歳

学習院大学法学部卒業後、
日本歯科大学にて歯科医師免許取得
大正大学大学院仏教学科修了
現在は僧侶として龍興院副住職
歯科医として家業の大島歯科医院
また、臨床布教師としての活動など
多岐に渡って活動を行っている

お坊さんの活動は
これからもっと広がる！

インタビュー



善立寺副住職 小路竜嗣 31 歳
信州大学大学院工学系研究科卒
(株)リコーに入社。開発者として勤務
増上寺にて加行成満
大島上人とは修行道場の同期



今

回のインタビューは東京都墨田区の龍興院副住職、大島慎也上人です。大島上人は僧侶として布教に励まれる一方、歯科医として大島歯科医院に勤務されています。

二代続いて僧侶兼歯科医

副住職小路（以下、小路）

現役の歯科医かつ、お坊さんというのは相当珍しい経歴ですが、なぜ歯科医と僧侶を両立されたのですか？

大島上人（以下、大島）

私は元々、この龍興院の生まれです。当山は小さなお寺ですので、代々副業を持ちつつ、お寺を護持してきました。祖父は教員として、父は歯科医として働き、私も父の影響で歯科医になりました。

私が歯科医になった当時は祖父もまだまだ現役で、父も元気でした。



勤務中の大島上人

ですので、私自身も「お坊さんになるのはまだ先の事かなあ」と漠然と考え、僧侶の資格は持っていました。

しかし、父が体調を崩したことを機に、平成二十三年に教師養成道場に入行しました。

小路 修行中、大島さんを象徴するエピソードは手の洗い方です。

大島さんは手の洗い方がものすごく丁寧かつ確実で、さすが医者さんだなと思いました。体力的にも精神的にも厳しい環境の中で、大島さんの医学知識は私たち修行僧にとって、とてもありがたいものでした。

連絡が取れない日々

小路 修行中辛かったことはなんですか。

大島 外部と連絡が取れない日々は辛かったですね。実は修行に入った当時、父が病気で入院していて、まさに生死の境にいました。なので、修行中も心配で心配で…。修行後、すぐに電話をかけ、無事であったときは心からホッとしました。

一方、修行では、様々な先生から仏教の講義を受けることができたのが、とてもありがたかったです。

そして「お釈迦様の教えはなんて理路整然としているんだ!」と、とても感動しました。

『理論立っている・根拠がある』

ことを、医学用語で「エビデンスがある」と呼びます。まさに仏教の教えは、人の心や生死の問題について、理論立っていて、まさに「エビデンス」があります。医師としても大変興味深い内容でした。

その後、仏教への興味が高じて、大正大学大学院で仏教学を学び、昨年、大学院を卒業しました。

歯の話は布教のきっかけ

大島 僧侶として檀家さんにお話をする際、気づいたことがあるんです。皆さん、お坊さんの話というとなにかどんよりと、うつむきがちになっちゃいますよ。

そんなとき「実はさきほど、入れ歯直してきたんですよ」と言うと皆さんフツと顔を上げ、興味深そうにこちらを見てください。

このように、法話を聞いてもらうきっかけとして、歯の話をする必要がありますね。

また、お檀家さんから治療の相談

を受けます。特にご年配の方は歯の悩みをお持ちの方が多いので、気楽に話しかけていただくきっかけになってますね。

今あるものを見直そう

小路 寺離れ、宗教離れと言われる昨今、私たちはどのように布教をしていけばよいでしょうか

大島 私は今あるものの中に答えがあると思います。

まず日本のいいところは家に仏壇があることです。以前、欧米の友人に「日本には仏壇という、家の中に先祖を祀り、祈る場所がある」と言われました。なるほど、改めて考えてみると日本文化の中には、いいところがいっぱいあります。

寺離れや宗教離れと報道され、私たち僧侶自身も新しい手法に目を向けてがちです。しかし実は、私たちがすでに持っているものの中に答えの一つがあり、それを見直してみることも大切だと思います。

そして、私たちお坊さん自身も忘れがちなのですが、「お経を読む・法要を行う」こと自体にご遺族を癒やす力があります。法要を通じて、

亡くなった方はもちろん、ご遺族にとって大切な人の死を受け入れる一歩になっています。

そして、お念仏の教えは本当に素晴らしいです。南無阿弥陀仏のお念仏は僧侶だけでなく、ご遺族や会葬者をはじめ、全ての人が同じ行を行います。シンプルで分かりやすいからこそ、老若男女問わず、誰でも行えます。誰でも行えるということは、誰もが救われる教えであるということです。

お寺の社会貢献

大島 社会貢献活動については、私たち僧侶はこれから活躍の場が広がると感じます。龍興院でも参加している「おてらおやつクラブ」など、お坊さん発信の社会貢献も次々に生まれています。

次回は病院内でのメンタルケアを行う「臨床布教師」の活動について伺います。これまで公的機関に宗教者が介入することは許されませんでした。それが今変わろうとしている。死の床での宗教の可能性とは：



スカイツリーも眼前の墨田区龍興院



徒然草の中で 兼好法師と法然上人

ある人が法然上人に「念仏をしている時、居眠りしてしまうのですが、どうしたらいいですか？」と質問したら、上人は「目が覚めたら、念仏しなさい」と答えられたそう。とても尊いことだ。

また、「極楽往生ということは、すでに決まっていると思うなら決まっているし、まだ決まっていなと思うなら決まっていなものですよ」と言われたそう。これも、尊いと思う。

また、「疑いながらも念仏をすれば、極楽往生できますよ」と言われたそう。これもまた尊い。

徒然草 兼好法師

兼好法師と法然上人

『つれづれなるままに……』という冒頭で有名な徒然草。その中の一節が出てきます。

ここには、兼好法師が法然上人について聞いた話がまとめられています。そこに兼好法師が一言「尊いことだ」という感想を加えた、とてもシンプルな内容です。

「居眠りするなら起きてから念仏しましょう」という微笑ましい内

容ですが、ここから分かることがあります。

- それは浄土宗が誕生するまでは、居眠りするなどもってのほか
- 疑っているのは救われない

という教えが一般的だったこと。そんな時代に、法然上人が説きになった南無阿弥陀仏の教えがどれほど民衆にとってありがたいものであったかが、法然上人に近い時代を生きた兼好法師の「尊いことだ」の一言に現れています。

行ってきました

東京国立博物館 運慶展



浄楽寺の阿弥陀三尊像（運慶作）



東京国立博物館 開館前から長い行列

9月26日～11月26日まで東京国立博物館にて開催された運慶展に行ってきました。

なんと！この運慶展には、前号インタビュー記事に出演いただいた浄楽寺様の運慶仏5体も出展されていました！

風にたなびく衣の表現。かと思えば、鋼の鎧は硬く剛健に。そして人物の表情は、今にも息づかいが聞こえ、動き出しそうな臨場感。どの作品も、木材から削りだしたとは思えない傑作ばかりでした。

また、運慶自身も私財を投じて寺院を建立するほどの信仰者であり、美術品を作るといふこと以上に、自分の魂を込めて、後世に信仰を伝えようとした気迫を感じました。

塩尻仏教信和会の托鉢について

平成 30 年 4 月 4 日(水)、野村・原新田地区を中心に托鉢に伺います。

● 托鉢について

毎年 4 月上旬、塩尻市内の全寺院で構成される「塩尻仏教信和会」にて、托鉢を行っています。年ごとに担当地区・寺院を移し、今年は広丘地区を回ります。

善立寺の檀信徒の皆様のご自宅には

4 月 4 日(水)にお伺いする予定です。

何卒ご協力のほどお願い致します。



托鉢の様子

● お花祭り法要について

托鉢で頂いた浄財をもとに、毎年 5 月上旬、お釈迦様のご降誕を祝うお花祭り法要を行っています。また、戦没者並びに東日本大震災、熊本地震慰霊法要も執り行っております。

当会では、今後も宗派の枠を越えて地域貢献活動を行ってまいります。

毎年、頂いた浄財から塩尻市社会福祉協議会、各震災義援金、歳末たすけあい募金に寄付を行っています。



小口塩尻市長へ寄付金の贈呈

● チャリティバザー活動も行っています！！



本会の青年僧が集まり
「塩尻在住の子育て世代として、地域に貢献しよう！」
とチャリティバザーを始めました。

収益の一部を塩尻市図書館に寄贈し、児童書の購入費に充てていただいております。

(会場 / 日程：塩尻造花お客様感謝デーにて)



④落語（薬師・観音祭）



①盆施餓鬼会



③古水講詠唱大会



②長野教区檀信徒大会

平成二十九年度下半期の活動

盆施餓鬼会

7月28日、当山最大の年中法要「盆施餓鬼会（ぼんせがきえ）」を執り行いました。多くの檀信徒の皆様にご参列いただき、ありがとうございました。法話は瑠璃光寺副住職、關恒明上人がお話されました（写真①）

長野檀信徒大会

10月25日、塩尻市レザンホールにて、檀信徒大会が行われました。法要は善光寺大本願御法主、鷹司誓玉台下のもと、厳粛に行われました。講演では、ひろさちや先生による「お浄土とは何か」やラテン音楽など充実した内容でした（写真②）

中信仏青チャリテイバザー

11月4日、松本市民祭にて、中信地区仏教青年連盟主催の教育支援チャリテイバザーを行いました。売上は全額、養護学校やボランティア団体に寄付致しました。

長野教区古水講詠唱大会

11月6日、松本市キッセイ文化ホールにて長野教区古水講詠唱大会が行われました。

善立寺は14名の講員の皆様にご参加いただきました。善立寺御詠歌会は毎月1回、練習と茶話会を行っています。見学も行っておりますので、ご興味がお有りの方は善立寺までご連絡下さい（写真③）

薬師・観音祭

11月11日、毎年恒例の薬師・観音祭を行いました。今年は法話と落語「善立寺ぐらくらぐら」と題し、副住職による法話「落語の始まりはお坊さん？」と和泉家志ん治師匠の「時そば」をお楽しみいただきました。

皆様から「楽しかった」というお言葉を頂き、大変うれしい気持ちでいっぱいです。来年も開催しますので、皆様ぜひご参加ください！（写真④）

おてらおやつクラブ活動

いただいた供物をひとり親のご家庭や施設、こども食堂などにおすそわけする「おてらおやつクラブ活動」。奈良の浄土宗寺院から始まった活動が今、全国に広がっています。当山では皆様から頂いたお供物を東海地方のこども食堂におすそわけしています。

本年の回忌法要早見表

1 周忌	平成 29 年 (2017) 没
3 回忌	平成 28 年 (2016) 没
7 回忌	平成 24 年 (2012) 没
13 回忌	平成 18 年 (2006) 没
17 回忌	平成 14 年 (2002) 没
23 回忌	平成 8 年 (1996) 没

※休日は混み合いますので、お早めにご相談下さい。

編集後記

寺報も11号、6年目を迎えました。今号からデザインをリニューアル致しました。皆様の「読んだよ」のお言葉が制作の励みになっています。いつもありがとうございます。

仏教はとてもおもしろいです。この香蓮が仏教に興味を持つきっかけとなればと願い、今後も制作を続けてまいります。

副住職 小路竜嗣

平成30年1月1日

発行所 方便山善立寺 塩尻市広丘野村793-1
電話 0263-53-2645 発行・編集人：小路竜嗣